慶應義塾大学理工学部同窓会 2024年度 総会·特別講演会

今年の特別講演会は、第21代理工学部長 村上俊之君をお迎えしました。

同窓会サイトにおける動画配信の他、会場では村上学部長をお招きし、動画上映会と、 同窓会副会長 前刀禎明君を交えたトークセッションを行います。

【スケジュール】

13:00 総会 落合正行同窓会長挨拶・2024年度奨学生挨拶

13:20 特別講演会 第1部 動画上映

『力加減の難しさ ~学部運営とロボットの力制御~』

理工学部長 村上俊之君

14:30 特別講演会 第2部 トークセッション

「モノづくりと大学教育」

理工学部長 村上俊之君

同窓会副会長 前刀禎明君

15:00 終了

詳細は理工学部同窓会サイトでご確認ください

https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/info/2024rengomitakai/



議題

- 1. 2023年度事業報告·会計報告
- 2. 2024年度事業計画
- 3. 役員について
- 4. その他

2023年度事業報告(1)

Alumni Association Science & Technology, KEIO UNIVERSITY 慶應義塾大学 理工学部同窓会

■理工学部同窓会奨学金 年額60万円。 返済不要の「給付型」奨学金 原資は「同窓会費収入」と「使途指定寄付」

採用者数:15名(2年生5名、3年生5名、4年生5名)

課題:作文「私が将来実現させたい夢」

対象者は、1)理工学部 2 年生以上に在籍している者、2)勉学の意欲を持ち、成績、人物ともに優秀であること、 3)経済的に修学が困難であると認められ、将来成業の見込みがあること。

学生総合センター委員による書類選考と面接によって、優秀な学生15名を採用しました。



2023年度 指定寄付奨学金授与証交付式 (2023年9月22日 三田キャンパスにて)

2023年度事業報告(2)



■理工学部同窓会 名簿Webシステム

システム更改に伴い大規模なサーバーメンテナンスを実施しました

本システムでは、会員相互の連絡機能「MXアドレス」(個人アドレス、年度・学部、研究室単位のメーリングリスト)の提供とニュースレター配信をおこなっています。MXアドレスの登録者数は、現在8,800名余。

各種SNSが普及する時代となりましたが、工学部・理工学部の卒業生によるご支援によって、大規模な卒業生ネットワーキングが実現できていることを皆様と共に誇りとしたいと思います。

「MXメール」設定方法は同窓会HPでご確認下さい。

https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/info/mx-keio-net20240112/

2023年度事業報告(3)



■終身会員制度

「55歳以上」対象、終身会費「6万円」一括納入

長年に亘って会員である方々が、退職後も安心して同窓会活動への 参加を継続していただけるよう、新たに導入された制度。

早速「323名」の終身会員が生まれました。

対象: 55歳以上の会員で、終身会費として6万円を一括納入した方

権利義務: 翌年度以降の年会費免除が受けられる。

55歳以上の会員は是非ご検討下さい。 申し込み受付中です。

理工学部同窓会終身会員申込書

2023年度 会計報告



会計報告 令和5年度収支実績予算対比表

(令和5年4月1日~令和6年3月31日) (単位:円)

科目	2023予算額	2023決算額	2024予算額
I 事業活動収入(会費収入)	36,500,000	53,490,370	37,000,000
Ⅱ雑収入	700,000	783,045	770,000
【収入合計】	48,200,000	54,273,415	37,770,000
事業活動支出	35,042,600	33,913,585	24,659,662
∥管理費支出	9,157,400	7,470,366	9,110,338
Ⅲ奨学金事業積立支出	4,000,000	4,000,000	4,000,000
【支出合計】	48,200,000	45,383,951	37,770,000
当期収支差額	0	8,889,464	0

終身会員制度導入により、2023年度の会費収入が「約1,700万円増」と大幅に伸びたことを受け、 名簿Webシステムの大規模サーバーメンテナンス 費用を十分賄うことができました。

慶應義塾大学理工学部同窓会

令和6年3月期

決算報告書

監事: 泽 写一郎

(澤 孝一郎)

監事: 大野 義夫

(大野 義夫)

顧問税理士: 田辺 佑一

(田辺 佑一)

会計幹事: 柿沼康弘·山本崇史

2024年5月29日

2024年度事業計画



- ① 理工学部同窓会報の紙媒体による発行(9月20日)
 - ⇒住所等変更や訃報のお知らせは「塾員センター」あてに直接、申請してください。 塾員(卒業生)ホームページ http://www2.jukuin.keio.ac.jp/address/index.html
- ② 名簿ウェブシステムの運用 https://meibo.dosokai.st.keio.ac.jp/logins
- ③ 同窓会行事の開催(キャンパスにお越しになれない会員にも参加可能な形を取ります)
 - ·幹事会
 - ⇒書面決議により、地方にお住まいの幹事からもご意見をいただけるようにします。
 - ・総会および特別講演会
 - ⇒動画を制作し、地方にお住まいの会員の皆さまもご視聴いただけるようにします。
- ④ 理工学部同窓会ホームページ運営 https://www.dosokai.st.keio.ac.jp
 - ・塾員が参加可能なイベントや利用可能なサービス(<u>図書館利用、証明書発行</u>)の情報、 同期会や学科・研究室主催イベントの開催案内、同窓会事業関連記事などを掲載中。
- ⑤ 同窓会YouTubeチャンネル運営 https://www.youtube.com/@keiostalumni
 - ・同窓会制作の動画(講演会、キャンパスの様子、スポーツイベントなど)を配信中。
- ⑥ 年会費納入者限定・動画閲覧サービス https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/sokai/movie/
 - ・終身会員および年会費納入者のみ、非公開動画のご視聴が可能です。
- ⑦「理工学部同窓会奨学金」による奨学金支給制度
 - ・12名募集のところ3名増員し、合計15名採用。
- ⑧ 同窓会オリジナルグッズの販売
 - ・創立75周年を記念し、新規ペンマーク付きネクタイを制作。総会・特別講演会会場で販売開始。

2024年度事業計画



■理工学部限定・同窓会オリジナルグッズ

ペンマーク付きネクタイを販売 価格は1本¥5,000(税込)

当会は1949年に創立され、75周年を迎えました。

節目を記念して、新たにペンマーク付きのオリジナルネクタイを発売します。

発売日は、2024年10月20日です。 同窓会オリジナルグッズ注文書

詳しくはこちらから https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/goods/



年会費納入のお願い

2024年度 年会費4千円納入のお願い

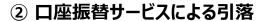
年会費は、毎年4月1日から翌年3月31日までの1か年の会費となります。皆さまからの会費は、 主に同窓会奨学金、同窓会報発行、理工学部同窓会ウェブサイトおよび名簿ウェブシステム運営等 の同窓会活動に充てさせて頂きます。下記のいずれかの方法でご納入下さい。 ▶

納入方法について https://www.dosokai.st.keio.ac.jp/info/kaihi/

① 振込用紙による振込

9月20日発行の『同窓会報』に同封される指定の振込用紙をご利用の上、お近くのコンビニエンスストア

・郵便局窓口・スマートフォンアプリにて、4千円をお振込み下さい。振込手数料は、同窓会が負担します。



銀行、信用金庫、ゆうちょ等ご指定の口座から、毎年8月に年会費4千円が自動引落になります。

申込方法:同窓会報に同封されるハガキ形式の「預金口座振替依頼書」に必要事項を記入し、

金融機関お届け印を捺印の上、ご投函下さい。登録後の口座変更や自動引落の解除も可能です。

③ ATM、ネットバンキングからの振込

<u>必ず依頼人名義に塾員番号をご入力の上、</u>次のいずれかの口座あてに4千円をお振込み下さい。振込手数は ご本人負担となります。 ⇒**依頼人名義には「塾員番号」をご入力下さい。**

ゆうちょ銀行 (9900)

〇一九 支店(019)

当座預金 0047914

慶應義塾大学理工学部同窓会

あるいは

スルガ銀行 (0150)

横浜日吉支店 (214)

普通預金 434876

慶應義塾大学理工学部同窓会 代表 落合正行



現役生を店場

しよう

ご支援のお願い



■理工学部同窓会奨学金への使途指定寄付について

使途指定寄付にご協力下さる理工学部卒業生が、コロナ禍以降、 急速に増えており、6年連続で、奨学生の増員が実現しています。

ご寄付は、少額でも構いません。

一人でも多くの塾員に、「塾生支援の輪を広げること」に意義があると考えています。

寄付の方法

(詳しいご案内はこちら)

<u>所定の寄付申込書</u>に必要事項をご記入の上、 FAX(045-561-7594)またはご郵送下さい。

寄付者は、慶應義塾発行の機関誌『三田評論』へご芳名、使途並びに寄付金額の掲載が可能です。

■税法上の優遇措置について

卒業生が個人として「理工学部同窓会奨学金」として慶應義塾に直接寄付をした場合、確定申告で所定の手続きをすることにより、最大約40%の寄付金控除を受けることができます。詳しくは理工学部学術研究支援課ホームページをご覧下さい。

https://www.recsat.keio.ac.jp/donate/



役員(退任・交代)について

- ■名誉顧問(退任) 北里 一郎 君(C-13) (学) 北里研究所
- ■副会長(退任)
 野村 雅行 君(M-29) (株) クリーク・アンド・リバー
- ■常任幹事(退任)
 川﨑 進 君(E-26)
- ■常任幹事(学内)交代

物理学科担当:大橋 洋士 君 $(B-47) \rightarrow 能崎 幸雄 君 (B-51)$ 電気工学科担当:田邉 孝純 君 $(E-58) \rightarrow 武岡 正裕 君 (E-54)$

新・役員体制について

本幹事会後、以下の役員体制を予定。赤字は新任(敬称略)

間下 直晃

名誉	会長
会	長
副会	長

村上 俊之	(E-46)	
落合 正行	(A-32)	
北城 恪太郎	(A-25)	
中川 陽一郎	(M-28)	(学内)
数原 英一郎	(A-29)	副会長
渡邊 佳英	(I-30)	常任幹事
尾崎 元規	(A-30)	
中村 吉伸	(A-30)	
田中 常雅	(M-32)	
星野 広友	(C-38)	
前刀 禎明	(A-39)	
佐藤 誠一	(C-40)	
波多野 睦子	(E-41)	
江守 康昌	(C-43)	
岡 敦子	(A-44)	
武田 健三	(M-45)	
野呂 洋子	(A-45)	
五藤 信隆	(M-47)	
堀之内 英	(E-49)	会計監事

(J-58)



朝倉	浩一	(C-43)
田中	敏幸	(I-40)
種村	秀紀	(S-40)
高尾	賢一	(C-48)
高田	眞吾	(J-48)
能崎	幸雄	(B-51)
武岡	正裕	(E-54)
牛場	潤一	(I-59)
	_	_
横森	剛	(M-56)
横森 髙橋	剛 正樹	(M-56) (D-58)
12 4 1 1 1	1.77	,
髙橋	正樹	(D-58)
髙橋 山本	正樹崇史	(D-58) (K-60)
髙橋 山本 柿沼	正樹 崇史 康弘	(D-58) (K-60) (D-60)
高山柿安松	证 崇 康 弘 太	(D-58) (K-60) (D-60) (M-63)
高山柿安松	武 世 崇 康 景 峻	(D-58) (K-60) (D-60) (M-63) (A-63)

イベントのご案内(1)



■2024年度 矢上賞·矢上賞(起業支援)授賞式典·講演会



日 時:10月26日(土)13:00~

場 所:矢上キャンパス 創想館 地下2階

マルチメディアルーム

昨年度受賞者

■第25回慶應科学技術展 KEIO TECHNO-MALL2024

日 時:12月13日(金)10:00~

場 所:東京国際フォーラム 地下2階

展示ホール(2)



昨年度開催の様子

イベントのご案内(2)

■理工学部同窓会 総会·特別講演会



特別講演会 第1部 動画上映 『力加減の難しさ ~学部運営とロボットの力制御~』 第21代 理工学部長 村上俊之君

日本におけるロボットのイメージとして 鉄腕アトムを思い浮かべる人は多いと思います。

鉄腕アトムは「十万馬力の無敵の力を持つ、 心やさしい科学の子」として今でも親しまれていると 思いますが、現状のロボットはAIによってある程度の 心のやさしさが持てたとしても、やさしい触れ合いを 行うことはまだまだ難しい状況にあります。

様々な動作の中でロボット自身が力加減を 適切に調整するためには何が必要となるのでしょう か?

ロボットを含め機械システムにおける力制御の重要性について最近の研究の成果を交えてお話ししたいと思います。



慶應義塾大学理工学部同窓会 ⋈ dosokai@st.keio.ac.jp



特別講演会 第2部 トークセッション

「モノづくりと大学教育」 第21代理工学部長 村上俊之君 同窓会副会長 前刀禎明君





俊之君

電気工学科 46期 1988年卒 第21代 慶應義塾大学理工学部長

1988年慶應義塾大学理工学部電気工学科卒業。博士(工学)。 1993年慶應義塾大学助手(理工学部電気工学科)、

2007年慶應義塾大学教授(理工学部システムデザイン工学科) 2021年8月より理工学部長。電気学会産業用用部門担当理事、 JSPS学術システムセンター研究員等を歴任。

2023年10月日本学術会議連携会員。

2024年電気学会業績賞受賞など。電気学会(フェロー)、 IEEE (Fellow) .





管理工学科 39期 1981年卒

ディアワンダー株式会社 代表取締役CEO & CWO

ソニー、ベイン・アンド・カンパニー、ウォルト・ディズニー、 AOLなどを経て、アップル 米国本社副社長 兼 日本法人代表 取締役に就任。スティーブ・ジョブズ氏に託された日本市場で 危機的であったアップルを復活させた。

リアディアでは、セルフイノベーション事業を展開。2023年に ディアワンダーを設立し、新たな挑戦を始めた。AIを創造的に 活用してCQ(好奇心・創造性指数)を高める「WONDER LEARNING」事業を開発している。

リアルディア代表取締役CEO、AI inside取締役CMOを兼務。

10/20 sun 13:00 start 日吉 第4校舎J11教室